

③動物の保全対策に係る検討

〔動物の保全対策に係る取り組みイメージの例〕

◆実施時期と実施方法の想定

- 工事期間中(1)に保全対策が段階的に進展していくものと、工事期間中の準備的期間を経て、ダム供用開始後(2)に継続的に取り組みが行われていくものが考えられる。
- 工事期間中は、ダム事業者による調査活動を基本に、有用植物の保全対策とも関連づけながら多様な森林環境の再生を図り、また、口承文芸の継承については、情報収集と試験的な取り組み等を行いながら、啓発活動や伝承者の育成に取り組む。
- ダム供用開始後は、アイヌ文化の担い手の参画を得て引き続き、取り組みを行う。

【時期の想定】

【保全対策としての取り組みの一例】

